

「ユリウスでの安心感」

中学受験

私は母に、中学受験を勧められ、3年生の時に日能研に通い始めました。始めは問題が簡単ですらすら解くことができていたものの、5年生あたりから、自分で解くことができず、解説や日能研の解説動画を見るようになりました。6年生になるととけなくなってユリウスに通いはじめました。ユリウスに通いはじめてからは、「わからなくてもユリウスの先生に聞けばわかる」という安心感を持つことができるようになり、今まで難しくて、捨ててしまっていた問題もチャレンジできるようになりました。

1月からは、過去問や過去問の類題を解くようになりましたが、なかなか正答することができずにつらさと心配をかかえたまま2月1日を迎えました。2月1日の試験の感触は悪かったものの、志望校に合格。笑顔で受験をおわらせることができました。感触が悪くてもあまり心配せずにテストを受ければきっと合格できるのでがんばってください。

S教室 Wさんご本人

「一つの問題をとことんやりこむ」

中学受験

まずユリウスに入塾した経緯は、塾で苦手としている教科を補強するために入塾しました。成長したと思う所は算数の成績が上がった事、先生の話をよく聞けるようになった所です。算数の成績が上がるのはとても大変で問題によって解き方を変えたりしなければならず、どれがどの解き方で解くのか全て理解するのが一番苦戦しました。しかし、一つの問題に対してとことんやりこむことによってその逆境を乗り越えました。

次に逗子開成中学校を志望したのは、いそこがその中学校に行っていてとても楽しそうだったのと、目の前が海だったことが理由です。入試が近づいて来た時の心境はその中学校に絶対入ってやるという思いを強固にして本番にのぞみました。合格のアドバイスはとにかく過去問を何回も何回もくり返しやりこむことです。そうすると学校の問題の特徴がよく分かります。

先生へ、中学校での楽しい事をたくさん教えてくれてありがとうございました。

S教室 Nさんご本人

「いつもの自分でチャレンジ」

中学受験

私は、5年生の夏期講習からユリウス高津教室に入塾しました。入塾した当初は算数が苦手で、小テストでいつも悪い点数を取っていました。しかし、6年生になってから、間違えた問題の類題を繰り返し解

いて、解けるようになる楽しさがわかってきて、少しずつ解き直しにも慣れていきました。また、受験本番を迎え、私は、第一志望にはすべての日で落ちました。しかし、二日目や三日目の試験が終わった後も教室に行き、翌日の試験の対策をしてもらいました。4日目の夕方に第一志望の学校から連絡がきて、繰り上げ合格したということが母の口から伝えられました。そのときの喜びようは、やはり一度行けないと思っただけあってとても嬉しかったです。

入試本番では、緊張でいつもの実力は出せません。ただ、それは周りも一緒です。だから、見直しや、いつもの自分が取れる問題を落とさなければ、点は取れます。自分的に手応えがなくても、何かしら解答を書くというのが大切だと思いました。そして、ユリウスの先生、スタッフの皆様、最後までサポートしてくださってありがとうございました。

T 教室 S さんご本人

「ちゃんと考えるようになった受験」

中学受験

「受験したい？」と親に聞かれて「するに決まってるじゃん」と言ったことがきっかけで3年生の後期にユリウスに通うことになりました。最初は受験についてよく分からないまま授業に参加していたけれど、気になりませんでした。しかし、4年生になってからは入塾する人が増えていったこともあり、「受験で何だろう」と思うようになりました。それでも、何となくで生活をしていきました。六年生、自習開放がされるようになりました。「面倒だし、家で勉強した方が楽だから。」という理由で行っていませんでした。それから何週間か経った時、先生の誘いで行くことになりました。正直何をやらされるのかと不安で後ろめたさが圧倒的に勝っていました。しかし、実際に行ってみると印象が全然違っていました。自分一人のために全力でフォローしてくれている先生達を見てすぐに「もっと早くから行っておけばよかったな。」と後悔しました。それがきっかけで受験についてちゃんと知るようになり、積極的に勉強もするようになりました。

宿題ノートに細かく指導や応援コメントを書いていただきありがとうございました。勉強の励みになりました。また、受験の直前にいただいたメッセージカードを本番の休憩時間に見ることで切り替えて取り組むことができました。最初から最後まで本当にお世話になりました。

T 教室 O さんご本人

「後輩受験生へのアドバイス」

中学受験

国語の漢字は塾から配られたファイルで何度も復習すると覚えられるし、テストでも点が取れるのでオススメ。算数のテストで①の計算問題がすべてあっていると良いので、計算プリントをたくさんやるといい。また単位が出てくる計算はミスすることが多いので、塾のトイレにはってあるプリントは絶対に先生からもらったほうが良いと思う。社会はメモチェの弱点診断テストをやって自分の弱点を見つけ

て苦手分野を克服するのが良い。先生からその分野のプリントももらえることができるので、何度もやるのがオススメ（いつもの授業の復習をするのも重要）。理科は計算問題が出てくるから公式はちゃんと覚えておく。基本的なことは全て覚えるととても良い。入試本番ではおちつくことが大事。深呼吸するとおちつく。ラムネを持って行くといい。また（これは本当に少ないが）たまに鼻歌を歌っているヤツがいるので、鼻歌に気を取られないようにしておく。しょっちゅうえんぴつやシャープペンシルを落とすヤツもいるから音に気を取られないようにする（えんぴつは輪ゴムでしばっておくと机から落ちにくい）。必ず入試会場に着いたらトイレの場所を確認すること。

ユリウスの先生方へのメッセージ

2年間または3年間ありがとうございました。いろいろとご迷惑をおかけしました。先生たちのおかげで良い結果を出すことができました。今までお世話になりました。

T教室 Mさんご本人

「悪い点をとっても悲観しない！」

中学受験

一月後半、小学校を休む時期に家で志望校の過去問を解いていました。今までの過去問であまり低い点数を取ったことがないので、普段通りに解いたら... 算数がとにかく悪い点数でした。受験直前にとってしまったのでくやししいし、ショックでした。

それでもしっかりと解き直して気持ちを落ちつかせました。そして受験当日。第二志望には受かっていたので、模試と同じ気分で受けました。それでも家に帰ってくるとソワソワして家の中を歩き回っていました。今すぐに結果を見たい気持ちでいっぱいでした。結果発表を見ると無事合格。だから受験直前に悪い点数をとっても悲観しないでいけば受かる！後輩のみんなもがんばって！！

T教室 Kさんご本人

「努力したぶん力がつく！」

中学受験

いろいろな塾をまわって、一番先生が明るかったり、授業がおもしろそうだと思ったりした塾がユリウスだったので入塾しました。はじめは宿題の量が多く、計画をたてて効率よく宿題をすることに苦戦しました。けれど、手帳やカレンダー、やることリストを作ることによって乗り越えました。また、計画的に宿題をすすめることで、はじめは多く感じていた宿題も、だんだん多く感じなくなりました。

効果があった勉強方法は、資料集や教科書に出てきた覚えたい単語を探し、その単語が答えになる短い問題を考えて、それらを白紙の単語帳... ?に書いて自分なりの単語帳... ?を作ることです。(マル秘) 私が志望校を決めた時期は、結構はやかったと思います。いろいろな学校へ行き、「何を中心に学ぶのか」や、「先生の様子」を知る、また、室長との面談をして決めると、意外とはやく決まりました。

入試が近づいてきたときは、はやく入試終わらせたいな！がんばろう！という気持ちもありました。当日は、受かって受からなくても精一杯がんばって問題を解こうと思いました。入試を通じて得たことは、暗記物などは、努力したぶん力がつくということと、意外と家じゃない方が勉強がはかどるということです。なので、家じゃない場所で勉強してみるといいですよ！！明るく楽しい授業を行ってくれた先生方、事務員さん、ありがとうございます！！そんな授業を続けてほしいです！！よろしくおねがいます！！

T 教室 M さんご本人

「行きたいと思える塾」

中学受験

私は、3年生のころに集団塾に通っていましたが、授業についていけなくなり、4年生になってやめてしまいました。その後、姉がユリウスに通っていたので、5年生から「受験勉強をやろう」と思い、ユリウスに入塾しました。初めてユリウスに行った時は、個別指導なので、緊張していましたが、だんだんと教室の雰囲気になじめ、通うのが楽しくなり、「行きたい」と思える塾になりました。

ユリウスの授業は、週2日で通えるので、自分のペースで受験勉強を継続することができました。私は、文系科目が得意でしたが、算数と理科がとても苦手だったので、指導者の先生に解き方などを細かく教えて頂きました。秋ごろに志望校を決めてからは、特に過去問に力を入れて取り組みました。入試が近づいてきてからは、入試と同じ時間に過去問を毎日解いていました。

入試当日は、あまり緊張せずに落ち着いて受けられましたが、1日目の午前（第一志望校）午後は両方とも不合格でした。午後は手応えがありましたが、残念な結果となり、かなりショックを受けました。しかし、気を取り直して2日目に全力で挑もうと思いました。結果は見事合格をもらいました。「とりあえず行ける学校がある」と思うと、かなり安心しました。そして3日目では、午前に第一志望校に再チャレンジをすることにしました。しかし、その日は自分のレベルよりも高かったので、諦めかけていましたが、受けた後は1日目より少し手応えを感じました。

午後の入試を受け終わった直後、父と帰っていた時、母から電話がかかってきました。なんとそこで知ったのは、午前の第一志望校の合格でした。結果を知ったときには、表しきれないほどの喜びを感じ、涙が出るほど嬉しかったです。ここで諦めずに挑んで本当に良かったと思いました。また、入試を終えてから、諦めないことの大切さを改めて実感しました。最後になりますが、今まで優しくご丁寧にご指導をしてくださったユリウスの先生方、本当にありがとうございました。

M 教室 H さんご本人

「チーム私と先生」

中学受験

私が初めてユリウスに来たのは小学三年生の時でした。「塾」という存在がとても嫌だったのですが、

体験してみると考えが変わりました。母に「楽しかった？」と聞かれたとき、「楽しいというより好きになった」と答えたのを覚えています。

並行塾通いの中、予習、クラス維持勉強を一緒にやってもらいました。並行塾ではクラスで競い合い、笑い合いながら勉強しました。その空間はとても楽しかったです。ユリウスでは「チーム私と先生」で勉強してテストに臨んでいる気がしてとても好きでした。模試の成績が悪かった時も良かった時も雑談も相談も「先ばい」のように話を聞いてくれてうれしかったです。

5年生の冬、大好きなユーチューブとゲームをやめ休み時間を自分で決めるようになりました。そうしてから成績が特に算数が上がり、復習で何度もつまずきユリウスに行っていました。春夏秋冬通い続け合格を手にした時は不思議とおどろかなかったです。それは、私の心の中に応えんしてくれた先生達、毎日塾を一緒に通った友達、何より努力した自分自身がいたからでしょうか。受験勉強の日々は確かな“形”となっています。

Y 教室 S さんご本人

「苦手が苦手でなくなった」

中学受験

ぼくがユリウスに行きはじめたのは六年生になってからです。初めは国語の授業のみで一週間に一回だけだったのですが、夏休みからは国語と算数の一週間に二回に増やしました。ユリウスで分かりやすい授業を受けることで、これまで苦手だった国語もあまり苦手ではなくなりました。そうすると、他の教科の負担がへり、そのおかげで合格することができました。六年生の一年間、授業をしてくださり、ありがとうございました。

Y 教室 Y さんご本人

「4年からの積み重ね」

中学受験

私は、過去問が始まる前まで弱点補強をやったり、通っていた集団塾での宿題の分からない所をきいたりしていましたが、過去問が始まると、過去問をメインとしての授業になり、授業内で過去問が終わったら自分で持ってきた分からない所をきいたりしていました。

私が受験を通して思ったことは、4年生、5年生からの努力の積み重ねが、完ぺきなほど6年生で有利になりやすいということです。6年生になってからも、意外に4年、5年でやったような内容の応用ができたり、そのままの形で出てきたりするので、知識や基本は固めておいた方が良いと思います。受験直前では、学校を休む人も多いと思います。休まない人でも、時間があれば「知識」の確認をするといいです。受験前日はいつもより勉強をがんばりすぎず、いつも通りすごして本番にそなえてください。受験は長いようで短いので、思いっきり楽しんでください！

Y 教室 K さんご本人

「苦手科目で点数をかせいだ！」

中学受験

私は午前・午後両方を受験しました。午前はとても緊張しました。なぜなら、初めての受験だし、第一志望校だったからです。午前と午後は長い空き時間があったので、車の中で体を休めました。そのおかげで、午後もがんばることができました。午後は少し集中力が足りていなかったため、緊張するようにしてのぞみました。

私の苦手科目は算数だったので、そこをユリウスで補強しました。そのおかげで、入試では算数で点数をかせぐことができました。そのおかげで受験は2日間で全志望校に受かることができました。第一志望校に受かってよかったです。中学受験をしてよかったですと思いました。

N 教室 M さんご本人

「あたりまえなことからはじめました」

中学受験

私は、とても理科が苦手で、ユリウスに通いはじめました。ユリウスに通いはじめたのは、小学校6年生の9月で、小学4年生から続けている日能研と一緒に通うことにしました。はじめはユリウスに入塾したのが遅く、このままで理科がのびるのかな・・・と正直不安だったのですが、まずはしっかり問題文を読むなどあたりまえなことからはじめました。すると、理科の成績も、4教科の成績もあがり、模試では、日能研でのクラス順位をあげることができました。他にも過去問のふり返りやその類題をたくさん解くことで、実力をつけていくことができました。でも、第1志望校の理系の過去問はなかなか相性があわず、合格最低点(4科目)をこえたのも入試の2週間前くらいがはじめてでした。それでも、第1志望校の過去問の類題を解き、苦手意識をなくしていきました。

そんな中むかえた入試。2/1のAMは第1志望校を受け、PMは安全校を受けました。ですが、結果はどちらも不合格。続いて2/2も2/1と同じ学校を受けましたがどちらも不合格。このとき自分はもう後がない・・・と追いつめられていましたが、気持ちを切りかえて2/3に挑もうと思いました。2/3は第1志望の入試がないため、別の学校を受け合格。自分に自信ができました。2/4は第1志望に合格し、憧れの学校に進学することができます。本当にありがとうございました。

S 教室 Y さんご本人

「あきらめないで合格」

中学受験

僕は、小学三年生の十月から日能研に二年半くらい通っていました。最初の方はけっこう楽しくできましたが、小学五年生からかなりハードになっていき、小学六年生はとてもハードでした。そんな中僕

は、小学五年生のときはなんとかがんばっていましたが、小学六年生の夏期講習の始まる前に、つらくなり、日能研をやめてしまいました。そしたら、「ユリウス」という個別塾を見つけました。日能研をやめたときも受験だけはあきらめられなかったので、すぐにそこに通うことにしました。ユリウスに入ってから、いままで分からなかったことなどをしっかりと教えてくれて、その結果、志望校に合格することができました。

いままで受験を支えてくれた家族や先生の方々に感謝したいです。今、勉強するのがつらかったりしても、無理をせず、休けいしながら、これからもがんばってください。志望校に落ちても、その努力はこれからの人生に絶対に役に立ちます。これからもがんばってください。

S 教室 S さんご本人

「最後まであきらめないでほしい」

中学受験

私は、4年生からユリウスに通い始めました。4年生の頃は、あまり集中力もなく、1時間も集中することができませんでした。そのためテストの成績もあまり良くなく、偏差値約40と、志望校には程遠い数字でした。そこで姉が通っているユリウスに入ることを決めました。その後少し成績は上がったものの、やはり集中力がないため志望校偏差値には少しも届いていませんでした。

そして5年生になり、理社の成績は少し落ちました。ですが、得意科目も出てきて少し自分に自信がつかしました。後期になると中学受験をするという自覚も出てきて、少しだけ志望校に偏差値が近づきました。でもやはり、志望校との偏差値の差は約6ありました。1月になると受験生としての説明会などもあり、正直焦りました。ですが、志望校は変えませんでした。

そして6年生になり、受験生になりました。日能研の算数の先生の授業がとてもわかりやすく、全体の成績が一気に上がっていきました。6年生の2回目の合格判定では、志望校偏差値との差は2に縮まりました。成績は上がっているものの、他の人もどんどん成績が上がるため、3回目以降のテストはあまり良くありませんでした。志望校判定では、再考や努力という結果が目立ちました。最後の合格判定は再考でした。志望校を変えようかと一瞬迷いましたが、今変えるのはどうかとも思い、最後まで志望校は変えませんでした。そして一月になり過去問の点数も少し上がっていました。

遂に2月を迎え、入試に挑みました。三科目で、国語、理科には自信がありましたが、算数には自信が全然ありませんでした。午後入試は、二科目で、まあまあ自信がありました。結果は午前不合格、午後合格でした。第二志望校に合格したのは嬉しかったのですが、第一志望校が不合格だったため、2日の同じ学校の受験も不安になりました。2日は手応えがなく、結果も不合格でした。もう気持ちを切り替えた2月6日、第一志望校から、電話がかかってきました。補欠合格として、4年生の頃から変わらない第一志望校に合格することができました。30分くらいずっと泣いていました。こういう奇跡のようなこともあるので、これから受験に挑む人にも、最後まであきらめないようにしてほしいです。

K 教室 T さんご本人